

令和8年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 神奈川県
 農業委員会名： 秦野市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和8年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和6年6月21日

任期満了年月日 令和9年6月20日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	12	12
認定農業者	—	8
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	1
40代以下	—	0
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	12	12	7

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	1,376
農業経営体数	525

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業者数	1,246
女性	608
40代以下	69

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	84
基本構想水準到達者	15
認定新規就農者	21
農業参入法人	10
集落営農経営	0
特定農業団体	0
集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	105	962				1,070

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

II 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)/(A)
	1,070 ha	203.9 ha	19.1 %
課題	農地の基盤、鳥獣被害対策を一層強化し、優良農地の創出及び確保に努め、担い手農家等への農地の集積を図る必要がある。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

②目標

農地の集積の目標年度	令和8年度	集積率	19%
今年度の新規集積面積	2ha	農地面積(C)	1,070ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	205.9ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	19.2%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2)遊休農地の解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	63.6ha	35.5ha	28.1ha
課題	遊休農地となっている所は、基盤整備の必要などが多く、すぐに優良農地に回復するのが困難となっている。 農業従事者の高齢化や鳥獣被害による耕作意欲の減退が遊休農地の拡大につながっている。		

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和7年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	35.5ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	10.32ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和7年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	28.1ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	担い手の増加及び農地銀行制度、農地中間管理事業制度を活用し、認定農業者等担い手農家や新規就農者への農地の利用集積を図る。

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.9ha
---------------------------	-------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和5年度新規参入者	令和6年度新規参入者	令和7年度新規参入者
	6経営体	8経営体	6経営体
	1.2ha	1.26ha	0.78ha
課題	農業者の高齢化が進んでおり、新たな農業参入者の確保・育成を図る必要がある。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和5年度	令和6年度	令和7年度	平均
	2.3ha	4.5ha	3.2ha	3.3ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積	0.33ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限り。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限り。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	6日／月	最適化活動を行う 農業委員の人数	11人
		農地利用最適化推進委員の 人数	12人

(2) 活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	2回
-------------	----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
6月～11月	遊休農地の解消	荒廃農地解消市民ボランティアの会と連携し、市内随所で荒廃農地解消活動を行う。
3月	新規参入の促進	農業委員会だよりの発行に合わせて、新規就農者の経営状況や営農場所等について周知する。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3) 新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1回
---------------	----

開催時期	令和7年11月上旬	相談会名	農地の貸借等に関する説明会
参加者数	9名	開催場所	堀山下ふれあい農園管理棟
相談会の内容	新規就農希望者に対し、市内農地の現状や貸借の手続き等について説明する。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)